

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（売場主 任）	それ以外	・天候不順の涼しい状況が紳士服には好影響となり、 バーゲンも始まった夏のスーツの販売量が増加してい る。
	やや良く なっている	百貨店（販売促 進担当） 衣料品専門店 （統括） その他専門店 〔携帯電話〕 （従業員） タクシー運転手 遊園地（職員）	お客様の様子 来客数の動き 販売量の動き 来客数の動き 来客数の動き	・夏物処分の動向は今一つであるが、SARSの解 決、株式の変化などで、景気が多少上向いている。 ・七夕祭があるが、今年は例年よりも広範囲からの来 客があり、祭用品の売行きが上向いている。 ・新商品の発売と旧商品の値崩れが、販売数の増加に つながり、やや良くなっている。 ・夏休みや七夕祭開催の影響から、次の仕事の順番が 早く回ってくるようになってきている。 ・長引く梅雨により、客のレジャー意欲に水を差され た状態である。3連休は久しぶりに大入りとなり、少 しは良くなっている。
変わらない		商店街（代表 者）	来客数の動き	・主に学校関連の用品を扱っているが、学校が夏休 みに入り客足が落ちている。一般客は専門店の利用が少 なく、大型店に行っている。
		商店街（代表 者）	競争相手の様子	・北関東最大といわれるショッピングセンターが今月 オープンし、客はそちらに流れている。4月にオープ ンしたショッピングモールとアウトレットの影響とあ わせて、夏休み中の集客が減少している。通信販売の 売上は若干増加している。
		一般小売店〔精 肉〕（経営者）	お客様の様子	・梅雨明けが遅く、例年に比べて暑い日が少ないの で、夏バテ防止のスタミナセールも空振りの状態であ る。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・この2～3か月、店頭販売はかなり伸びている。7 月の売上は中元を含め、対前年比105%と好調である が、外商が対前年比80%と不振であり、総じて変わら ない。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・客は必要な物以外は買わない。本当に欲しい物だけ は、どのような価格でも購入する様子である。
		コンビニ（店 長）	お客様の様子	・現在キャンペーンを行っており、若干売上が増して いるが、他は特別変化がない。
		衣料品専門店 （店長）	来客数の動き	・梅雨が長引いた影響で、盛夏物の動きが悪い。
		乗用車販売店 （経営者）	単価の動き	・客からの問い合わせ、注文はあるものの、低価格の 物に偏っている。売りたい商品と注文を受ける商品に 価格差があり、利益薄となっている。
		乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・とにかく販売量は減る一方である。イベントを開催 しても全く効果がなく、売れたとしても単価の安い車 のみである。
		その他専門店 〔携帯電話〕 （営業担当）	販売量の動き	・一定の売上はあるものの、単価が安く、利益には大 きく結びついていない。
		高級レストラン （店長）	来客数の動き	・7月の前半は七夕祭などで比較的来客数は良かった が、それ以降の来客数は低調で、特にディナータイム の減少が著しい状況である。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・上半期、前年対比とも、1か月当たり600～800名 程度、宿泊客数が減少している。
		旅行代理店（経 営者）	お客様の様子	・SARSが一段落し、一般の客が回復すると見込ん だが、実際は3か月前と同様の状況である。申込状況 も変わっていない。
		旅行代理店（経 営者）	それ以外	・4月以降SARS、景気の悪化が続いていたが、S ARSも大体収まり、景気は依然として悪いままでは あるが、最悪期は脱し、底を打った感がある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・ボーナス商戦も厳しく、夜の繁華街は本当に客が少 なくなっている。ゼネコン関係の客はゼロである。
		通信会社（社 員） 観光名所（職 員）	販売量の動き お客様の様子	・新規契約数が伸び悩み、前年を大幅に下回る状況 は、7月に入っても変わっていない。 ・天候不順の日が多いことに加え、梅雨明けが遅いこ とから、旅館、ホテル、レストランの入込みは、全 般的に例年をかなり下回っている。

	競輪場（職員）	競争相手の様子	・7月の記念競輪の売上は、あまり上昇せず、ほぼ横ばいである。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（事務長）	単価の動き	・最近になって、一部の仕入れ部品価格が下がっているが、利益につながるほどではない。
	設計事務所（所長）	単価の動き	・少し明るさが見えてきたが、物件の数は非常に少なく、仕事の取り合いで売上がなかなか伸びない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・商店街の薬局では、客の利用は調剤ばかりで、一般の商品の売行きは落ちているとのことである。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・冷夏が続き、飲料水、青果物、水産物、ビールの売上が前年を大幅に下回っている。3か月前と比べ、売上が約3%落ち込んでいる。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・特に7月の場合、気温が低く、衣料品、水物商品が売れず、夏物商品の動きはほとんどない。
	スーパー（統括）	単価の動き	・客単価は前年同期比98～99%と下落傾向にある。買上点数は105%、レジ通過客数は106%となっている。中元は、点数が伸びているものの、2割引ギフトに人気が集中し、単価が下がっている。持ち帰りギフトのウェイトも増えている。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・7月中の長梅雨のために、夏に売れるような商品が本当に売れない。特にドリンク類、調理麺は前年の5割にいかない日もある。
	コンビニ（経営者）	それ以外	・7月は気温の低い日が続く、飲料関係、アイスクリーム、冷たい麺類等があまり売れず、前年と比べるとかなり落ち込んでいる。
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・低温続きで、客が夏物の商品、デザート類を買い求めず、販売量が減少している。
	コンビニ（店長）	それ以外	・7月は天候が悪く、アイスクリーム、ジュース、発泡酒、値上げ後のたばこなどの売行きが悪い。盆過ぎには秋の風が吹いてくるので、実質夏は終わったようなものである。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ボーナス支給月にもかかわらず、イベントを開催しても販売台数が一向に伸びていない。来客数も減少している。
	スナック（経営者）	お客様の様子	・通常ならば客がビアガーデンやピアホールに流れる時期であるが、冷夏の影響からか、当店の落ち込みはやや少ない。街中の人出は少ない。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・7月の予約は対前年比で5%程度減少している。梅雨明けが遅れているせいか、8月の予約の入りも2割程度悪くなっている。
	タクシー運転手	それ以外	・違法な駐停車による客待ちタクシーの排除という市民運動が活発になり、100台前後のタクシー待機場所に700台が詰め掛ける事態となっている。営業場所のないままに増え続けるタクシー業界の大きな課題である。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・例年であれば、暑くなると客は隣接県に流れるが、今年は暑くないので来場している。客単価は低い。また、日照時間が短く、雨が多いために、芝の病気が出てきている。
美容室（経営者）	単価の動き	・単価の高いパーマ客はほとんどおらず、非常に簡単なカットばかりで、単価がぐっと下がっている。	
悪くなっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・展示会を開催しても、来場率が悪く、販売目標に達しない。笛を吹いても踊ってくれない時代なのか、量販店との共存を模索している。
	スーパー（経営企画担当）	それ以外	・異常気象のため、盛夏物、飲料が全く振るわず、食肉、菓子の伸びではとてもカバーしきれない。売上は減少している。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・主力商品の動きは良いが、たばこ増税前の駆け込み需要から元の状態に戻るまで20日間かかっている。冷夏でソフトドリンク、ビール、アイスクリームなどの夏場における主力商品も減少している。来客数は対前年比で96.9%であるが、売上はひどいものである。
	コンビニ（店長）	それ以外	・たばこ増税の駆け込み需要の反動で、7月のたばこの売上は50%前後に落ち、良い日でも65%前後となっている。全体の売上は対前年比84%と最悪の状態である。
	一般レストラン（業務担当）	来客数の動き	・梅雨が明けないので、納涼会の客が激減している。

企業動向 関連	良く なっている	輸送用機械器具 製造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・5月以降、自動車のフルモデルチェンジがあり、好調であることから、3か月前と比べて売上が20～25%増加している。
	やや良く なっている	金属製品製造業 （経営者）	取引先の様子	・自動車関連の他に、産業機械、特に大型の工場用コンプレッサー等に引き合いが出てきている。最近、製品の客先が決まった注文が多いので、やや良くなっている。工作機械等にも動きが出てきている。
		一般機械器具製 造業（生産管理 担当）	取引先の様子	・油圧機器業界では、中国向け建機の仕事が活況を呈している。「増産に耐えてください」と近年にない挨拶をもらった取引先や、休日返上で出勤している取引先もある。
		精密機械器具製 造業（経営者） 輸送業（営業担 当）	受注量や販売量 の動き 取引先の様子	・多品種少量の精度の高い試作品などの引き合いが増加してきている。 ・梅雨明けの遅れのため、前年と比べて夏場家電、飲料水の配送依頼が減少しているが、全体ではやや増加している。
	変わらない	食料品製造業 （営業統括）	取引先の様子	・メーカーにより一部堅調な動きがみられるが、全体としては需要の低迷や輸入物との競合から、生産、出荷とも依然として厳しい状況にある。
		化学工業（総務 担当）	受注量や販売量 の動き	・受注量の増加を目指し、営業的に動いても価格が下がるだけであり、痛しかゆしの状況である。
		金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・観光地ではSARS騒ぎも終息し、予約状況も良好であるが、冷夏のため、客足は鈍い。製造業では精密機械、自動車部品が好調であり、明るい兆しが出ている。一方、土木、建設関係は公共工事の減少などで廃業する業者が出るなど、厳しい状況が続いている。
		広告代理店（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・広告の出稿量は良くも悪くもない。夏に向けての販売促進計画は前年と変わっていないが、クライアントの資金繰りが厳しく、慎重に料金を回収しないと簡単に未回収になってしまう状況である。
		その他サービ ス業〔情報サー ビス〕（経営者） その他サービ ス業〔放送〕（営 業担当）	受注量や販売量 の動き 受注量や販売量 の動き	・引き合い、受注状況は変化がないが、競合や投資予算からみると、単価が厳しい状況が続いている。 ・企業が広告の効果、実績を重要視してきており、コマースの工夫、内容の充実の要求が強く、作成経費等がかかり、収益に影響している。
	やや悪く なっている	食料品製造業 （製造担当）	受注量や販売量 の動き	・梅雨が明けず、思うように暑くならないので、冷たい商品が売れない。
その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）		受注量や販売量 の動き	・一般小売店では、辛うじて低価格帯に動きがみられるものの、中級品から上の動きがない。	
悪く なっている	建設業（総務担 当）	受注価格や販売 価格の動き	・民間少額修繕工事で、10万円の見積りに対し、5万円しか支払ができないと言われていた。付き合いの長い取引先なので、サービス工事として請負うことになった。	
	金融業（融資担 当）	取引先の様子	・客から、ボーナスが減っている上に、新たに社会保険料等の負担が増加したことから、手取りが減少し、例年よりも消費に回す分が減ったと聞いている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （経営者）	それ以外	・一部の業種を除き、IT関連、携帯販売、流通関連を中心に求人、求職ともに安定した状態が続いている。4月以降は、派遣数が前年を上回る状況が続き、売上も3か月連続で1割以上伸びている。依然として専門職の需要が多く、一般事務や営業事務の新規需要は皆無である。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・派遣、請負、臨時、パートなどの非正社員の求人が目立っている。求人の増加傾向は続いており、新規求人が前年同月比で37.3%、有効求人が26.7%増加している。就職数は、対前年比19.7%の増加となっている。
変わらない	求人情報誌製作 会社（経営者）	求人数の動き	・求人数は前年の6～8月が悪かったので、対前年比では良くなっているが、3か月前と比べて極端に良いというわけではない。オープン予定のショッピングモールの募集広告が出てきている。	

	求人情報誌製作会社（経営者）	雇用形態の様子	・各企業とも新卒者の求人には慎重で、今年度の採用を見込んでいる企業は少ない。特に高卒は低調である。中途採用では、経験があり、即戦力となる人は、多少有利であるが、その他の人が社員になるのは厳しい。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が、2か月連続で、対前年同月比17%台の減少となっている。特に、パートの求人数の減少が大きい。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業はデジタルカメラ、液晶関係で上向いてきたものの、正社員採用にはまだ踏み切れていない。求人が増加しているのは、固定費の少ない30歳までの開発系であり、中高年は依然として厳しい。300名のリストラを発表した企業もあり、中小では賞与の大幅削減、賃下げが目立ってきている。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・県内では、大手の半導体製造装置メーカーや信用金庫が、希望退職者を募集するなど、雇用維持が困難な状況が続いている。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・人員整理、リストラに関する問い合わせが非常に多くなっている。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・学生が希望する事務、販売職を、企業は人件費削減のため、繁忙期にパート、派遣等で対応し、求人に結びつかないケースが多々ある。
悪くなっている	-	-	-